

# 令和6年第11回国分寺市農業委員会総会議事録

令和6年11月20日(水)午前9時30分

第11回国分寺市農業委員会総会を市役所書庫棟会議室に召集する。

出席委員 (14名)	1番 吉野 賢一	2番 関田 和雄	3番 鈴木 孝幸	4番 濱野 周泰
欠席委員 (1名)	5番 鈴木 秀男	6番 草ヶ谷 誠一	7番 須崎 忠男	8番 平野 孝行
	9番 鈴木 弘子	10番 笛田 弥生	11番 川窪 光一	12番 小柳 弘
	13番 中村 秀雄	14番 栗原 啓輔	15番 本多 佳郎	
事務局 出席職員	事務局長 飯塚 達儀	係長 榎本 紘幸	係 有田 元之	

## < 議事日程 >

日程第1 開会と署名委員指名

日程第2 前回会議録の承認

日程第3 会長等の報告

日程第4 議案審議

議案第1号 令和6年度北多摩地区優秀農業経営者表彰候補者の推薦について

議案第2号 令和6年度国分寺市優秀農業経営表彰(農業委員会長賞)表彰者の決定について

日程第5 協議事項

協議第1号 令和6年度東京都農業委員会・農業者大会及び農業委員会主催各表彰受賞祝賀会について

協議第2号 農業委員会視察研修について

日程第6 報告事項

報告第1号 農地法第4条第1項第7号の規定による届出に係る専決処理について

報告第2号 農地法第5条第1項第6号の規定による届出に係る専決処理について

報告第3号 第19回農ウォークについて

報告第4号 地区別懇談会の開催結果について

報告第5号 今後の日程について

日程第7 その他

議長(鈴木秀男)は令和6年第11回国分寺市農業委員会総会の開会を宣言した。

## ○ 日程第1 開会と署名委員指名

議長は、議事録署名委員について、次の2名を指名した。

6番 草ヶ谷 誠一      8番 平野 孝行

- 日程第2 前回会議録の承認  
事務局提示のとおり前回会議録は承認された。
- 日程第3 会長等の報告
  - 10月19日 第19回農ウォーク（全委員）
  - 10月22日 立毛品評会（鈴木会長）
  - 10月24日 国分寺いきいき農園第3回栽培アドバイス会  
（草ヶ谷委員・中村委員）
  - 10月28日～29日 会長現地研究会（鈴木会長）
  - 11月3日 令和6年国分寺市表彰式（鈴木会長）  
国分寺市政施行60周年記念式典（鈴木会長）
  - 11月3日・4日 国分寺市農業祭（全委員）
  - 11月8日・12日 地区別懇談会（全委員）
  - 11月9日 国分寺市市民農業大学収穫祭（鈴木会長ほか6委員）
  - 11月13日 女性農業委員等研修会（鈴木弘子委員・笛田委員）
  - 11月19日 第2回臨時総会・事業推進協議会（鈴木会長）

○ 日程第4 議案審議

- 議案第1号 令和6年度北多摩地区優秀農業経営者表彰候補者の推薦について  
議長は、議案第1号を議題とすることを告げ、事務局説明を求めた。
- 事務局 議案第1号について、候補者の審議を願いたい。  
議長 本議案について審議の結果、次の者を推薦することを全員一致で  
確認する。なお、推薦に当たっては地区担当委員及び事務局が訪問  
し、推薦承諾依頼をする。  
推薦者 寺本桂一氏（中藤地区）

- 議案第2号 令和6年度国分寺市優秀農業経営表彰(農業委員会長賞)表彰者の決定  
について  
議長は、議案第2号を議題とすることを告げ、事務局説明を求めた。
- 事務局 議案第2号について、表彰者の審議を願いたい。  
議長 本議案について審議の結果、次の者を表彰者として決定するこ  
とを全員一致で確認する。  
表彰者 鈴木孝幸氏（恋ヶ窪地区）

○ 日程第5 協議事項

- 協議第1号 令和6年度東京都農業委員会・農業者大会及び農業委員会主催各表彰  
受賞祝賀会について  
議長は協議第1号を議題とすることを告げ、事務局に説明を求めた。
- 事務局 例年2月に、東京都農業会議主催「農業委員会・農業者大会」が  
開催される。今年は、総会の日と同日であり、会場は昨年同様、昭  
島市民会館（現FOSTERホール）で開催予定である。会場までは、中  
型バスで受賞者と同行し、「農業委員会・農業者大会」の終了後、  
昭島市から国分寺市までバスで戻ってきたのち、国分寺駅直結のコ  
コブンジプラザリオンホールにて、祝賀会を開催する。祝賀会の開

催に当たり、内容と来賓者を決定いただきたい。なお、昨年と異なる点として、「農業委員会・農業者大会」の開催時間が短縮されたことを受け、祝賀会の開始時間を1時間早く繰り上げ、午後5時30分開始としている。

議 長

昨年と同様の内容と来賓者で、異論がなければ事務局案のとおり進める。また、来月以降、祝賀会の役割分担を総会で協議するが、議席番号順で役を割り振った方が協議時間短縮につながるという意見が出ている。これも異論がなければそのように進める。

## 協議第2号

### 農業委員会視察研修について

事務局

議長は協議第2号を議題とすることを告げ、事務局に説明を求めた。稲城市への視察研修について、タイムスケジュール案と意見交換会に係る事前質問について協議願いたい。なお、稲城市では、過去に都内初の遊休農地認定を行い、納税猶予の期限の確定を行ったことについて、稲城市農業委員会会長から概要をお話いただく予定となっているが、10年以上前の話であることから、遊休農地を出さないために現在取り組んでいる内容に注目した質問を協議いただきたい。

なお、稲城市の話伺う前に、遊休農地の認定から、納税猶予の期限の確定までの流れを把握し、意見交換会を迎えていただきたいため、参考資料を添付している。

(事務局より納税猶予の期限の確定までの流れを説明)

議 長

昨年のように事前質問を作り、稲城市へ提供した方が有意義な時間になると思うため、具体的な質問を考えたい。

中村委員

農家開設型市民農園を開設するに当たり、行政・JA・農業委員会がどのように関わったかなど、説明や質問は聞けるのか。

事務局

圃場視察として、農家開設型市民農園の開設者にお会いする機会が無い可能性が考えられ、直接話を聞くことはないかもしれないが意見交換会では質問できると考える。

濱野委員

稲城市はナシをはじめ、カキ、ブドウ等、果樹が古くから有名であり、ブランド化に関しては気になるところである。また、都市化の波が来ているのは国分寺市と同様であるが、国分寺市は平地が多い一方で、稲城市は丘陵地域である。ブドウ棚が広がっていた農地に大規模な造成工事が入る等、都市化の急速な発展が、農業にどのように影響しているのか伺いたい。

議 長

都市化については、濱野委員の指摘のとおりである。是非伺ってみたい。稲城市は果樹もちろん、以前は稲城米がおいしいとよく聞いた。

濱野委員

稲城市はナシの名産地であるが、旬の時期にも関わらず、開店直後の共同直売所の前を通った際、ナシが売っていないことがあり、その事情と農業者の本音を聞いてみたい。

吉野委員

相続対策についても伺ってみたい。

議 長

次回総会で質問を取りまとめる。全委員と一緒に良い質問を作りあげていきたい。

- 日程第6 報告事項
- 報告第1号 農地法第4条第1項第7号の規定による届出に係る専決処理について報告第1号について、事務局より資料を基に1件報告した。
- 報告第2号 農地法第5条第1項第6号の規定による届出に係る専決処理について報告第2号について、事務局より資料を基に3件報告した。
- 報告第3号 第19回農ウォークについて
- 報告第3号について、事務局より資料を基に報告した。
- 議長 初めて秋の開催として農ウォークを実施した。開催時期も含め、各委員から反省と感想を伺いたい。
- 吉野委員 開催時期は良かった。ただ、最後の意見交換会での時間が短く感じたので、もう少し時間を持てれば更に有意義になったかと思う。
- 関田委員 暑くも寒くもなく、気候は良かった。収穫物がない時期であったが、その割にととても良い内容であった。訪れる農家の畑でもう少し時間が取れば、なお良かった。
- 鈴木孝幸委員 振り返ると、今年の夏は猛暑だったので、秋開催は結果として正解だった。農ウォーク当日は、タイムスケジュールのとおり進行し、無事に予定の終了時刻に終わることができて良かった。
- 濱野委員 夏を外して良かったと思う。タイムキーパー担当からの感想だが、先頭は時間どおりに進むことができた一方、最後尾はタイムスケジュール的にギリギリであり、道程が長かったり、人数が多くなると難しさがあると思った。受入農家の協力が素晴らしく、内容はとても良かった。
- 草ヶ谷委員 受入農家としての感想だが、秋口ということで、野菜の収穫のタイミングが合わなかったことが残念である。野菜のちょうど境目となる時期であり、難しさがあった。この時期に開催すると、このイベントの収穫体験のためだけに特定の品目を栽培する必要があり、それを依頼しても受入農家は中々難しいのではないかと思う。
- 平野委員 収穫体験をお願いした野菜農家の方は大変な御苦労があったと思う。当日は残暑があったものの、10月という時期は良かった。ただ、全体として時間的に余裕を持ったスケジュールになると、更に良いイベントになると感じた。
- 鈴木弘子委員 過去、夏開催の農ウォークでは、一緒に歩くだけでも大変であった。それに比べ、今回の開催時期は良かったが、収穫体験として期待される野菜が少ない中で、参加者が満足できる内容になったのは、受入農家の努力の賜物であり、感謝したい。
- 笛田委員 受入農家は大変だったと思うが、参加者は、草ヶ谷委員の畑での白ナスをはじめ、国分寺市内でレモンやミカンが取れること、住宅地の中に畑が多くある等、驚きの声が上がっていたことが印象的だった。
- 川窪委員 受入農家としては、参加者に喜んでもらうため、普段以上に気を遣い、生育状況を細かく見る等、主催者側から見えない努力をしていると思う。受入農家には、そういった負担をかけてしまうが、当

会としては素晴らしいイベントのため、協力をお願いしていくしかない。時期としては、今回の時期が良かったと思う。

小柳委員

農ウォークは、我々農家からした当然でも、市民からしたら畑に入るといことは新鮮で、農家の文化に触れる貴重なイベントであることを再認識した。10月開催という点で、気候は良いが、収穫体験できる品目が育っていないというメリット・デメリットのバランスが難しい。開催者側としては、野菜だけでなく、果樹、植木、花卉を広くPRでき、良い機会を持てたと感じた。

中村委員

2年前に受入農家として携わった経験上、夏は暑くてやめた方がいいと意見したが、今回の気候は良かった。しかし、懸念のとおり、収穫体験できる野菜がなかったため、このバランスが難しい。また、今回参加した市民は最終的に39名となり、3班体制で実施したが、安全管理、進行管理の観点から、今回程度の人数が良いのではないか。最後の懇談会については、もう少し時間が持てたら更に良かった。

栗原委員

以前の夏開催に比べると、暑さが和らいで良かった。また、今回訪問した農家の作物も多種多彩で良かった。最後の懇談会で「是非もう一度参加したい」との声や、アンケート結果からも、農ウォークの好評ぶりをうかがい知ることができた。

本多委員

暑い日を外して、体調不良になる方がでなかったことは良かった。参加者は、多くの収穫物や農家の話を期待して参加されている一方、受入農家としては、全盛期の畑を見てもらい「実態はこんなに華やかで、大変な面も沢山ある」という話をしたいと思う。しかし、時期が変わると、両者の期待に答えられなくなってしまふ。例えば、もう少し作物が実る時期で、参加者から「こっちはなに？これはなに？」という質問が飛び交うような時期で、暑さのリスクをギリギリ回避できる時期を選びたい。また、何か所も回るのではなく、1か所の滞在時間を長くするなどの工夫があってもいいと思った。

議 長

今回の農ウォークは、総じて満足いく内容だったと考える。参加者が、普段は入れない農地に入れて喜んでくれたことが一番良かった。アンケートや、参加者と会話する中で、市民の農ウォークと農業に対する関心の高さがうかがい知ることができると、今後も継続する意義があるイベントだと思う。来年の実施時期については、早めに決めたいと思う。

事務局

順番では、来年は恋ヶ窪地域となる。このまま、開催時期を決定したいが、どうか。

議 長

来年開催の恋ヶ窪地域で中心となる鈴木孝幸委員の意見を伺いたい。

鈴木孝幸委員

安全を優先して秋開催が好ましいと考える。

事務局

例年のスケジュール等を考慮し、11月の最終週か、12月の最初の週はどうか。

鈴木弘子委員

野菜農家は12月が秋冬野菜の全盛期となり、野菜は困らないと思う。

中村委員 従前、恋ヶ窪地域はどの農家を訪問しているのか。  
事務局 資料が手元にないから具体的に答えられないが、農ウオークの趣旨からすると、野菜以外にも、果樹、植木、花卉等、幅広く見てほしいと考えるが、恋ヶ窪地域としては野菜農家が多い印象である。

中村委員 花卉は、その時期の生育状況はどうなのか。  
鈴木弘子委員 花はあるが、ポインセチアだけは、ハウス内に入って欲しくないと思う。

平野委員 集合・解散等の拠点となる会場はJ A東京むさし国分寺支店になるのか。

事務局 従前はそうであり、今回もそのようにしたい。事務局から質問であるが、果樹はあるのか。

草ヶ谷委員 その時期はレモン、ユズ、カキなどがあるので問題ないと思う。ちなみに、今年の開催状況を改めて伺いたい。

本多委員 去年は暑かったが、倒れるほどではなかった。多くの農作物がある時期だったので、畑に入るとたくさんの葉物があり、参加者の歓声があった。参加者では区別がつかない同じ色の作物を、農業者が説明することで、双方のコミュニケーションが円滑に図られた。そんな記憶があったため、先の振り返りの意見となった。

議長 開催地域によって異なるが、恋ヶ窪地域は横に長い印象であり、歩く範囲が多くなりそうではないか。

中村委員 ルートと、受入農家次第となってくるが、そのとおりである。受入農家は「これが国分寺の農家だ」という畑を見せたいと思うので、そういう時期の開催が好ましい。

事務局 ふれあい視察見学会の開催時期との兼ね合いがあるため、開催時期については早めに共催団体に伝えたい。

関田委員 少し話が変わるが、お土産野菜のキウイフルーツについて、品質としてぎりぎりな印象であった。用意したJ Aには、この事実を伝えることはできるか。

事務局 お土産野菜を持ち帰った複数の委員からその声を伺っており、イベント直後にその事実を伝えている。

議長 協議の結果、11月の最終週又は、12月の最初の週に開催することとする。

#### 報告第4号 地区別懇談会の開催結果について

報告第3号について、事務局より資料を基に報告した。

議長 後継者向けの内容として開催し、農業者年金や農業者がインタビュー形式で話をし、相続に関するアドバイスでは、委員から実体験の話を伝え、参加された農業者の心に響いたと思う。だからこそ、このアンケート結果だと考える。この場で、振り返りを行いたいので、各委員から反省と感想を伺いたい。

本多委員 2回の開催とし、1回当たりの人数が増加したことは良かった。また、後継者向けという企画だったからか、若い人をはじめ、参加者の顔触れがかなり変わった印象があり、成功だったと思う。

栗原委員 趣向を凝らし、農家の生の声を本人から参加者に伝えることがで

き、参加者からも好評だった。

中村委員 アンケート結果のとおり、企画が良く、成功と思う。委員の貴重な相続に関する話を聞くことができ、大変勉強になった。

小柳委員 バラエティーに富んだ企画が良かった。参加者が減った要因は、単純に開催回数なのか、会場が行きにくい場所だったからなのかは、検証の余地がある。

川窪委員 内容が良かった。特にインタビューが良く、来年も可能なら実施したい。参加人数を増やすために、紙の回覧だけではなく、今後の工夫は課題である。

笛田委員 結果として、全体の参加人数は昨年より少なかったが、若い参加者が多くいたのは良かった。口コミが広がって、来年はもっと参加者が増えると良いと思った。

鈴木弘子委員 インタビューをはじめ、直接農家の声を聞いて勉強になった。終了後、松澤事務局次長から「こんな素晴らしい内容の懇談会ができるのは国分寺市だけだ」と称賛をいただいた。

平野委員 とても充実した懇談会になった。今回は借り手をインタビューしたが、貸し手側の話を聞いたら面白いかもしれない。

草ヶ谷委員 参加人数の減少は想定内で、私の地元地区も、高齢者や足が悪い方は、足が運びにくく、会場選びに難しさがある。また、開催回数は減らしたが内容は濃く、今後も続けていきたい事業であると感じた。

濱野委員 内容を一新して、農家の生の声を、農家が聞くということはとても良い企画であり、有意義であった。2会場で行ったが、アンケート結果にもあるように「より多くの人に知って欲しい」という声があれば、2会場で開催しても人が増えると思うので、継続していくことが大切である。ひかりプラザは、駐車台数の許容量が限られているため、市内西側で駐車台数が確保できる会場が望ましい。

鈴木孝幸委員 インタビューのやり取りが自然で、とても良かった。非常にいい内容にもかかわらず、地元の農業者の参加が少なかったため、来年はもっと広報したい。

関田委員 2回の開催に絞ったが、内容が良く、有意義であった。貸借に関わるインタビューでは、都市農地貸借円滑化法を活用して民間企業に貸している農家に話を聞けたら面白いと思う。

吉野委員 参加人数は会場ごとに見ると、一桁から二桁に変わった。次回は各支部に動員をかけて良いと考える。開催時間は、例えば3時から開催するなど昼開催を検討してもいいと思う。

事務局 趣旨を変えた企画で、農業者が農業者に向けて、同じ目線で、生の声を届けたことが何よりも良かった。参加した農業者から「とても良かった。だからこそ、なぜ若い方が来ないのか不思議でもったいない。」という意見があった。今後、どのような形で開催するかは協議となるが、委員が農業者に生の声を聞けるよう質問するという企画は続けられれば良いと思う。また、農業者年金については、チラシを配布するだけでは効果がなく、このような話をしっかり聞く場も中々ない。アンケート結果から見ても、効果があったと

議長

考える。懇談会では貸借に関する松澤事務局次長の講演をはじめ、都市農業・農地を取り巻く状況や制度などの貴重な話が聞けるが、1番聞いてほしい肥培管理不良で困っている農業者は、中々出席しない。次回、貸し手に注目するのか、どのようなことを企画するかは協議していくことになるが、ひとまず、今回の懇談会は非常に有意義であった。

地区別懇談会という名にふさわしい「懇談会」になったと感じている。今後も、良い企画を練って開催していきたい。

報告第5号

今後の日程について

報告第5号について、12月12日開催「食と農セミナー」への笛田委員の出席を確認した。令和7年2月13日開催「北多摩地区農業委員会連合会優秀農業経営者表彰式」に鈴木会長、須崎会長職務代理、栗原委員の出席を確認した。

○ 日程第7 その他

・「こくベジのじかん」について

議長

令和6年第12回農業委員会総会は、12月20日(金)午前9時30分国分寺市役所書庫棟会議室にて開催する。

上記の会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和6年11月20日  
国分寺市農業委員会  
会長 鈴木 秀男

署名委員

署名委員